

第3回「国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会」

議事概要

日 時：令和3年2月15日（火） 13：00～14：30

場 所：広島国道事務所 5F会議室

出席者：別紙のとおり

議 事

■委員からの主な意見

(1) 第2回検討会の振り返り

- ・呉駅周辺整備と整合を図り、呉駅交通ターミナル整備を進めることが重要。
- ・複合施設など呉駅周辺整備と整合を図ることで、交通拠点だけではなくまちづくりの拠点であることを市民に伝えることが必要。

(2) 呉駅交通ターミナルについて

- ・都心居住者や次世代モビリティによって駅に集まる周辺住民の受け皿としての交通拠点であることを示すことが必要。

(3) 事業計画（案）

- ・市民や民間開発事業者にアピールするため、周辺エリアとの連携や将来の姿のわかりやすい説明が必要。
- ・まちづくりの中での呉駅交通ターミナル整備の位置づけや、市民や民間開発事業者へのわかりやすい整備後のイメージを示すことが必要。
- ・都心居住の受け皿として賑わいの創出などを考えると、複合施設内の商業施設や居住空間などと連携して計画を進めることが重要。
- ・居住エリアとの連携、商店街との連携、歩行者でつなぐネットワーク、自動運転空間、新しいモビリティによる都市軸など、広がりのある範囲で、将来の姿を示すことが必要。
- ・れんが通り、中通商店街を含めて、今後の在り方を含めたまちづくりであることが重要。
- ・将来の姿に、市民向けと民間開発事業者向けのメッセージを示すことが必要。
- ・民間開発事業者を選定のためには、交通ターミナルと複合施設の連携を意識することが重要。
- ・呉駅の橋上駅化により、モーダルコネクト機能強化が想定されるため、待合スペースの共用化を意識した施設間連携や、バス・鉄道・船の運行情報等の一体的な情報提供が必要。
- ・MaaSのような料金支払いや予約のシームレス化に向けて、データを活用した利用者への情報提供機能の検討が重要。

- ・多様な交通モードでの一元化された交通情報の提供が重要。
- ・賑わいを創出するため、デッキが身近なまちづくりや生活空間であることを市民に認識してもらうこと、市民や民間を巻き込んだまちづくりの動きを作ることが重要。
- ・デッキは、フリーマーケットを開くような、様々な人が一時的に賑わいを起こせる空間デザインであることが重要。
- ・今後、呉駅周辺の開発で終わることなく、呉市全域での連携強化に向けた具体的な計画等、広域的な機能強化につなげることが重要。
- ・まちづくりの進展、自動運転、次世代モビリティ、MaaSなど交通モードの発展や、イベント、災害などを踏まえて、整備を進めることが重要。
- ・交通結節点を中心とした議論をきっかけに、新しい交通モードや新しい生活様式に対する社会実験を行うなど、チャレンジングな取組であることを示すことが重要。
- ・呉駅交通ターミナル整備と整合のとれた呉駅の橋上駅化と自由通路について、遅延なく進めることが重要。

以上

第3回「国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会」出席者

氏名	所属・役職等	出欠
はとう えいじ 羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授	Web参加
つかい まこと 塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授	○
かんだ ゆうすけ 神田 佑亮	呉工業高等専門学校教授	Web参加
すずき かつむね 鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事	○
やまもと なおと 山本 直人	西日本旅客鉄道株式会社広島支社企画課長	○
おきぐち たけし 沖口 武司	広島電鉄株式会社バス事業本部呉輸送営業部長	○
ひ おか じゅんや 火岡 潤哉	一般社団法人広島県タクシー協会呉支部長	○
かわい ともあき 河合 智明	独立行政法人都市再生機構西日本支社副支社長	○
まつうら としゆき 松浦 利之	国土交通省中国地方整備局道路部長	○
むらかみ たけお 村上 威夫	国土交通省中国地方整備局建政部長	○
おぎの ひろゆき 荻野 宏之	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長	○
きたやま てつ 來山 哲	広島県地域政策局総括官(地域振興)	×
ふるかわ のぶひろ 古川 信博	広島県土木建築局総括官(土木整備)	○ (代理)
まとば ひろあき 的場 弘明	広島県土木建築局総括官(建築技術)	×
やまだ や きよし 山田谷 清	広島県警察本部交通部長	○ (代理)
おおき すすむ 大木 晋	広島県呉警察署長	○ (代理)
はまさと かなめ 濱里 要	呉市副市長	○